



TIFA会報

2014年7月12日
Vol.110
立川国際友好協会
発行責任者 齋藤 實
編集責任者 小林 保

Tachikawa International Friendship Association

2014年度TIFA総会

近藤誠

2014年度総会が柴崎学習館にて5月25日(日)に開催された。冒頭事務局よりの報告で今年度会員数として柴崎木曜クラス、土曜クラス、松中クラス各々31名、29名、20名の計80名(除休会者)、うち出席者及び委任状提出者計74名で総会が成立。会長挨拶の後直ちに議長選出に入り、佐藤達夫企画渉外部員が選任された。議事は席上配付された総会資料の式次第に則って進行、各部による平成25年度活動報告、役員改選・新体制、平成26年度各部活動計画案等が審議され、いずれも原案通り可決承認された。

会長の挨拶では「相手にきちんと理解してもらうには、話しだけではなく文章にして渡す事が重要だ」とし、今年度も会長挨拶文(要旨参照)を市、及び市議会にも送付、多文化共生都市宣言へ向けて関係者との一体化に資することができた、との説明があった。平成25年度活動報告での特記事項としては事務局よりの会員の異動(木:入会4名、退会4名、土:入会15名、退会11名)、またe-mailアドレスリストを作成したこと、松中クラスからは10数名の新入会があった、との報告及び木曜教室部からの、自助努力による収入増の必要性についての意見が挙げられる。一方平成26年度計画案での目玉になるものとしては、事務局からの会員相互のコミュニケーションの機会を増やしたい、授業方法の工夫や課題の情報交換が欲しい、また広報部からは過去の出来事の記述に加えて、これからの事柄をより一層取り上げ、初級者にも読めて教材にもなりうるような紙面作りをしたい、との意欲が語られた。木曜教室部からはふれあい祭りへの積極的参加、及び収入源確保のために事業委員会の立ち上げの必要性も提

言された。

終わりに市の第3次多文化共生推進プランに対し、当会より3名が委員として登録されたことの報告があり、委員より同プランの進行状況及び防災支援等基本的プランの説明があり、本総会の全日程が終了した。

TIFATIFATIFATIFATIFATIFA

総会での会長挨拶

平成26年度TIFA活動のビジョン展開を求めて・・・

立川国際友好協会 会長 齋藤 實

平成4年(1992年)に善意と志を同じくする市民のボランティア活動として発足した立川国際友好協会は、今年で22年目の歴史を刻んでおります。この間多くの外国人との交流が図られ且つ日本語学習の手助けが実践されて参りました。

現在ご参加いただいているボランティアの皆さんは勿論の事ですが、これまで堅実に活動されて来た諸先輩に対しても深甚なる敬意を表したいと思えます。

私たちの「外国人に対する日本語教室」ボランティア活動は、東京都でも先達である事を誇りとして「多文化共生都市推進」に拍車をかけて参りたいものです。

2005年(平成17年)6月に総務省に多文化共生の推進に関する研究会が設置され、地方自治体に多文化共生を総合的且つ計画的に推進する事を求めています。

立川市と川崎市が全国に先駆けて2005年3月に国より3カ月も早く「多文化共生推進プラン」を策定しております。この実績から見ても立川市が全国に先駆けて「多文化共生都市宣言」をすべきであると考えております。この精神は世界に向けた「平和都市宣言」でもあるのです。

多文化共生とは、「国籍や民族等の異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」と総務省も定義づけています。私たちはこのような理想を掲げてボランティア活動に参加している事に大きな誇りを感じながら日々の活動に精進したいものです。私たちのボランティア活動は、地味で華やかなものではありませんが、己が変化する力と他を変化させる力を保持している事を自覚すべきと考えております。



外国人に日本語を教えると言う活動は、同時に国際理解や国際交流と言われますが、むしろ人間理解であり人間交流でなければなりません。教える事は同時に習うことであり、決して自己満足に陥ることなく常に自己発展を目指すべきであります。メンバー一人一人の発展と同時に立川国際友好協会という組織としても立川市の未来像をリードするエネルギーを発揮する団体でもありたいものです。仲良く、楽しく、元気よく、を合言葉に頑張りましょう。

総会后、引き続き懇親会へ

近藤誠

木曜、土曜、松中各クラスからそれぞれ13名、15名、2名の計30名が参加した。3クラス合同の集まりとあって、お互いに入り混じり、それぞれのクラスの特徴や授業の進め方、関心のあがる国や地域の事情はもちろんのこと、秋の旅行の行先選定の難しさやアメリカ大リーグの勝敗占いなど話題は多岐に渡った。専門



分野での意見交換は時に熱弁会ともなり、酒類抜きの会であったが盛り上がり方は酒席のそれをも上回る勢いであった。

TIFATIFATIFATIFATIFATIFA

TIFA 会員移動 (敬称略)

5月発行会報V o 1. 109 記載以降

木曜教室：

- ①退会 (なし)
- ②入会 (3名)：石川志津夫、波多野均、小林和枝
- ③休会 (1名)：鴻地昌代、

土曜教室：

- ①退会 (2名)：福島信一、高橋珠美
- ②入会 (1名)：潘東麒
- ③休会 (なし)

松中教室：

- ①退会 (なし)：
- ②入会 (11名)：大谷暢子、岩田トモ子、高橋弘美、湯田明美、白井富子、大谷一啓、雪下敦子、高橋史麻、嶋村玲子、後藤直子、橋本麻衣
- ③休会 (なし)

木曜教室七夕祭り

7月3日、授業を早めに終えて、第2教室で七夕をしました。きれいな飾りつけがされた笹の葉に、皆それぞれの願いを書いた五色の短冊が沢山つけられました。七夕は五節句のひとつということで、日本文化の理解を外国人の受講生に深めていただくためにプリントも配布されました。また、黒板に「たなばたさま」の



歌詞が書かれ、会長による歌唱指導のもと皆で楽しく大合唱しました。今年は立川市の姉妹都市であるサンバーナーディーノ市からの交換留学生達も滞在中、TIFAの日本語教室に参加して、一緒に七夕を楽しんでいただくことができました。

交換留学生3名を簡単に紹介

します。

- 1 シドニー・リクターさん 16歳 女性
常に完璧を目指すガンバリ屋さんです。
得意科目は化学、水泳、テニス
- 2 プレシジョン・ラカーさん 16歳 女性
サッカー大好きな、心の広い活動的な娘さん
スペイン留学を志望し、乗馬を好みペットショップでボランティア活動中
- 3 ジェイコブ・スコット君 16歳 男性
将来森林火災災害を守る消防士を志望
趣味は、絵が好きで特にマンガやアニメが好きです。

TIFATIFATIFATIFATIFATIFA

土曜教室七夕祭り

7月5日、授業後、七夕祭りを行いました。ボランティアによる紙芝居や、自分達の願いを書いた短冊をそれぞれに読み上げて笹の葉に飾り付けたり、歌を唄ったりして楽しい一時を過ごしました。





異文化体験 ジンバブエの小学校

木曜教室 山崎員弘

この4月に南部アフリカを旅行した際、現地人ガイドがジンバブエのチャモンド小学校を案内してくれ、思わぬ学校訪問の機会をえることができ、貴重な体験となった。

金曜日と言うのに、教育委員会のセレモニーとかで児童は自主登校日となり、教室での授業参観が出来なかったのは残念であったが、まず、校庭の広さ！！これはこの辺の10倍以上はあり、そこでは男子児童が10～12名ごとに、ボール？を蹴りあいサッカーの真似事を、女子の多くは、ドッチボール？に似たゲームで思い思いに楽しんでいて、なんとこのボール？は、スポンジや布切れを単に丸めたもので、転がる物であれば何でも器用に蹴り廻しゲームや遊びにになってしまう！！

アフリカ勢のサッカーが、その体躯の強さはもちろん、長い脚を使ったボールさばきに見るべきものがあるのは、ここに原点があったのかと認めざるを得なかった。

メモリ教頭(女性)の説明を受ける。この国では、教育の権利は規定されているが義務規定はなく、でも実態は小・中学校は義務教育となっていて、小学校は5歳からの7年制、中学校は2年制となっており、就学率は90%強と言われている。

これまで小、中とも最終学年で国の卒業試験があり、受から



ないと卒業・進級は出来ず、何年でも留年させられたそうだが、今はこの制度が見直され、中学校進級時には試験(成績で

学校が決まる)を受け、これは日本の公立中学校とは違うところ。

1980年の独立前には人種隔離政策で黒人に対して十分な教育の機会が与えられなかったが、今では辺鄙な農村でも学校があるという。背景には、1980年にムガベ大統領が就任後、人材開発に力を入れたことが大きな理由といわれ(国家予算の約30%が教育費)、識字率(15歳～24歳)99%は、アフリカ54ヶ国の中で最も高い数字。しかし、授業環境は日本と比べると雲泥の差であり、この学校の児童数は1700人で制服着用、クラス40～50人ながら教室が足りず、学年ごとに奇数・偶数組で午前・午後の2部授業だとの事。

校長室はじめ薄暗い教室にも電灯はなく、机や椅子は数えるほどの荒れた教室、粗末な黒板は1、2枚、壁盤には算数の掛け算が書いてあ



った。教科書や文房具が不足しているのが普通で、先生方は、そ

れぞれの教科書がない分、みんなでシェアできるように工夫し教えている様子。授業は読み書き、算数が中心のようだが、公用語の英語、ンデベシ語(南西部クマロ人の言語)、ショナ語(ショナ人の言語)の3言語を勉強している。

お別れに教頭先生の掛け声で、[ドレミの歌]を現地語で歌ってくれたので、こちらは、それに動作を加えて日本語で歌ったら、大変喜んでくれた。

昨年11月、南砂小の交流教室に受講生を引率した際、自分の60数年前、敗戦まもなく、昇降口(こんなフレーズは?)までも机を並べ、楽器と言えばオルガン一つだった。そして、我が子の小学校時代を比べて、今では校舎や付帯設備の充実、PCは各自1台、和楽器体験で和琴まで揃っているのに驚き、目を見張っ



たものだが、、このジンバブエの小学校の貧弱さには、TVなどでは見たことがあるもの、現実をみて隔世の感じがした。でも生徒の瞳は輝いていたのが印象的で、その感動を深く心に

刻んで帰ってきた。ユニセフなどを通じて援助できれば、、、。

ジンバブエ共和国 ってどんな国

南部アフリカの内陸にある共和国。首都；ハラレ、言語；英語・ショナ語・ンデベシ語、人口；1,320万人 通貨；ジンバブエ・ドル？。旧イギリス領の南ローデシア。歴史的には北ローデシア(現ザンビア)と合わせてローデシアと呼ばれ、1980年に白人支配を脱して独立。国名は、グレート・ジンバブエ遺跡に因み「石の家」という意。ヴィクトリアの滝に代表される豊富な自然と野生動物など自然観光資源に恵まれているが、主要産業の農業は、未だ白人の農耕地占有が続けられ、多くの黒人系ジンバブエ人は小作農をせざるを得ない。また激しいインフレに見舞われていて、度々、食料や燃料の不足にさいなまれている。

本国通貨の信頼性が失われ、2009年2月、1兆ジンバブエ・ドルが新1ジンバブエ・ドルになる12桁のデノミを実施したが、実際



には市場で流通せず、この時点でジンバブエ・ドルの価値は、250億ジンバブエ・ドル=1米ドルとなり、年間インフレ率は約2億3千万%に達した。100兆ドル紙幣が世界史上最高額紙幣だそう

だ。このため、現在では、米\$と南アのランド(1R約¥13)の国内流通を公式に認め、インフレは劇的な終息を見せた。というよりも、ジンバブエ・ドルを使用する人がなく、価値を失ったことで国として通貨発行権を喪失したと見るべきかもしれない。買物は米\$表示、釣りは南アのランドとなり、面白いのは、この使われなくなった紙幣が土産として売られている事でした。

9月から新しい柴崎学習館に移転

平成25年2月から建築工事を開始した第一小学校、柴崎学習館、柴崎図書館、柴崎学童保育所が併設された複合施設複合が今年8月上旬に完成します。建物が完成後、順次移転作業等を行い、柴崎学習館は9月1日から、柴崎図書館は8月31日から、柴崎学童保育所は9月16日から新たな施設での利用を開始します。

現在の柴崎学習館は8月10日まで使用されますが11日より休館となります。

移転作業等で現柴崎学習館の使用が制限されるため、TIFA日本語教室の7月、8月、9月の開講は以下のとおりとなります。間違いのないよう注意してください。

木曜教室：

7月3日、10日、17日（最終日）現在の施設を利用

8月は開講日なし

9月4日、11日、18日、25日 新しい施設を利用

土曜教室：

7月5日、12日 現在の施設を利用

8月2日、9日 現在の施設を利用

9月13日、20日、27日新しい施設を利用

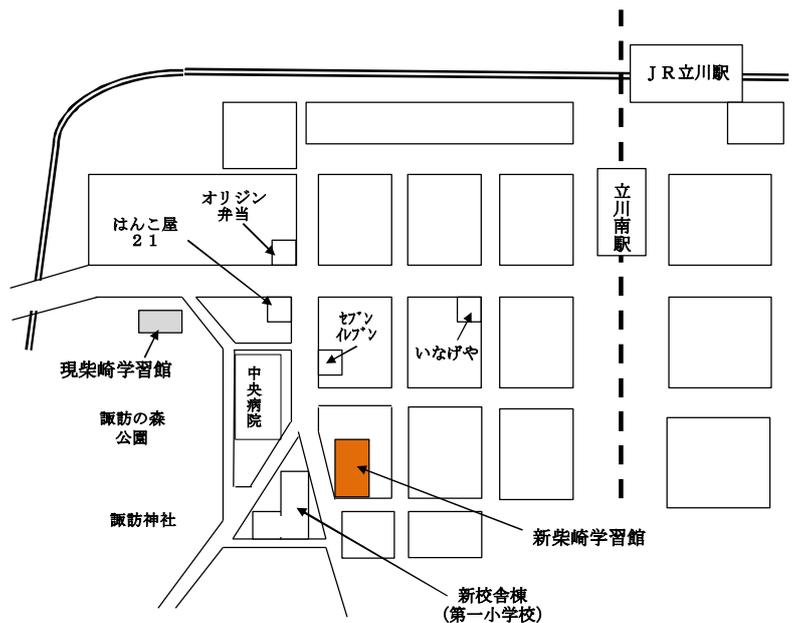
また、7月末までに現在使用中のロッカーの荷物を搬出し、8月27日から29日までに新柴崎学習館の割り当てられたロッカーに搬入する事になっています。TIFA各部門は新しいロッカーに搬入するまでの間、責任をもって荷物の一時保管をお願いします。

新柴崎学習館まではJR立川駅南口より10分、多摩都市モノレール立川南駅より徒歩9分ほどです。駐車スペースの関係上、車以外の交通手段を利用して下さい。

新柴崎学習館は地上3階、地下1階の建物で、道路を隔てて隣に隣接する第一小学校の校舍棟とは3階にある連絡通路で結ばれます。柴崎図書館は校舍棟の1階にあり、現在の3～4倍の広さで閲覧スペースや児童コーナー等が充実します。蔵書数は、およそ11,000冊、児童書11,000冊のほか、新たにCD1,000点程度を予定されているそうです。TIFAボランティアの方々には是非、教室の開始前あるいは終了後にもご利用してください。柴崎学童保育所は校舍棟1階に併設されます。

TIFA日本語教室は新柴崎学習館の2階の第二実習室と3階の第一実習室を使用します。定員は第一、第二実習室ともに30名で現柴崎学習館の50名×2室に比べ、若干狭くなることと、教室が2階と3階に分散することで少し不便さがあるかも知れません。多目的ホールの収容人員は300名で、毎年、年末に開催しているイヤーエンドパーティの参加者は200名強であり、収容力には問題ありませんが、現柴崎会館のホールの収容定員：350名に比べると、若干狭くなります。

平成26年8月30日（土）の午前中に落成式典を開催し、午後には地域の方々向けの内覧会を実施します。柴崎学習館につきましては8月31日（日）に利用者向けの施設説明会を実施しますので、興味のある方は参加して下さい。



TIFATIFATIFATIFATIFATIFA

☆ お知らせ ☆

7月17日（木） 木曜教室の1学期終了

7月26日（土） 防災学習、防災館見学

8月9日（土） 土曜教室、松中教室の1学期終了

9月4日（木） 木曜教室の2学期開始

9月13日（土） 土曜教室、松中教室の2学期開始